



TITLE:

表紙・編集後記・目次

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・編集後記・目次. 英文学評論 1956, 3

ISSUE DATE:

1956-03

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/134898>

RIGHT:

英文學評論

第 III 輯

アイルランド演劇の創始者たち……………	山 本 修 二
ポー プ と 剽 窃……………	川 田 周 雄
ドルベンの詩をめぐっての考察……………	山 村 武 雄
イエイツの『最終詩集』について……………	大 浦 幸 男
ロバート・フロストの対話詩……………	村 上 至 孝
天 才 と 女 神……………	中 野 正 順
Sentence Stress and Prose Rhythm ……………	小 林 象 三

京都大学教養部英語教室

目次

アイルランド演劇の創始者たち……………	山本修二……………(三)
ポープと剽窃……………	川田周雄……………(一六)
ドルベンの詩をめぐっての考察……………	山村武雄……………(四)
イエイツの『最終詩集』について……………	大浦幸男……………(五)
ロバート・フロストの対話詩……………	村上至孝……………(七)
天才と女神……………	中野正順……………(一〇〇)
Sentence Stress and Prose Rhythm……………	小林象三……………(一-一四)

編集後記

▲本誌の母胎ともいふべきものは、昭和二十八年から発足した当教室の討論会で、月に一回土曜日の午後輪番で研究発表をして、それを中心に活潑な討論や時にはユーモラスな座談に花を咲かせた楽しい集いであつた。

▲本誌に掲載された論文の多くは、こうした討論を経て作り上げられたものであつたが、この二年間の研究討論は、主として英詩論をめぐつて行われ、その集大成が、昨春秋、文部省の助成金を得て、「英国の詩論」として山口書店より出版された。

▲本誌編集委員の山崎、大浦両先生はもっぱらその方の仕事に当られ、一同原稿の最終仕上げに追われて、本誌を出すことも一時難航のところであつたが、幸いに山本、小林両先生のものをはじめ、労作六篇を得て、量的には縮小したが質的には充実した第三輯を出すことができたのは、よろこばしいことである。編集には両委員からバトンをついだ森、角倉が当つた。深瀬先生の原稿をいただけなかったのは、残念であつたが、先生は完成した「英国の詩論」をもつて上京されたおり、病を得られ目下静養中で、幸いに経過よく、やがて筆硯を新たにして次号を力作でかざられることであろう。先生の御全快を祈つてやまない。なお、バック・ナンバーは実費でおわけいたします。(M)

英文学評論

第三輯

非売品

昭和三十一年三月二十日 印刷
昭和三十一年三月二十五日 発行

編集者

京都大学教養部英語教室

代表者 池田義一郎

印刷所

内外印刷株式会社

京都市下京区西洞院七条下ル

発行所

京都大学教養部英語教室

京都市左京区吉田二本松町

REVIEW OF ENGLISH LITERATURE

VOL. III March 1956

CONTENTS

Yeats, Lady Gregory and Martyn	<i>Shuji Yamamoto</i>
Pope and Plagiarism.....	<i>Kaneo Kawata</i>
Reflections in Relation to the Poetry of	
M. Dolben	<i>Takeo Yamamura</i>
On Yeats's Last Poems	<i>Yukio Oura</i>
Some Dialogical Poems by Robert Frost	<i>Shiko Murakami</i>
The Genius and the Goddess	<i>Masanori Nakano</i>
Sentence Stress and Prose Rhythm	<i>Shozo Kobayashi</i>

ENGLISH DEPARTMENT
COLLEGE OF LIBERAL ARTS
KYOTO UNIVERSITY